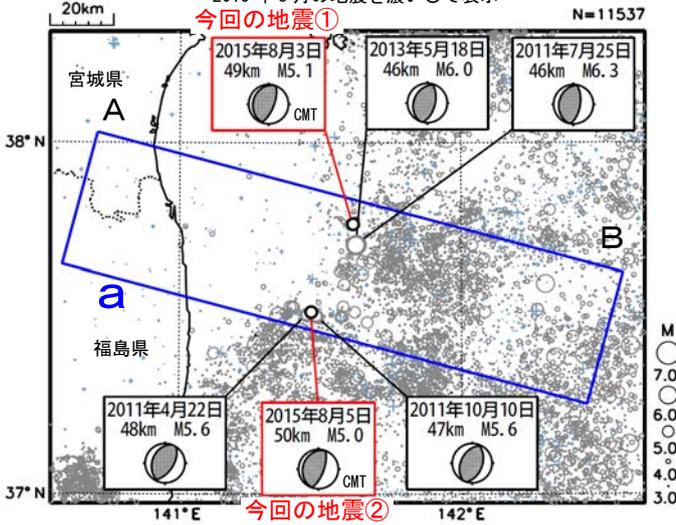


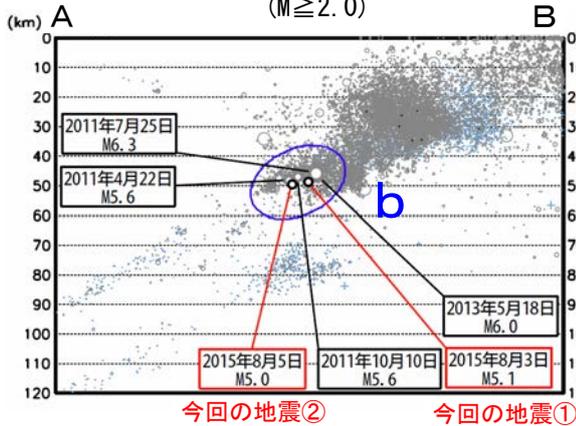
8月3日、5日 福島県沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2015年8月5日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+
東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を薄い○
2015年8月の地震を濃い○で表示

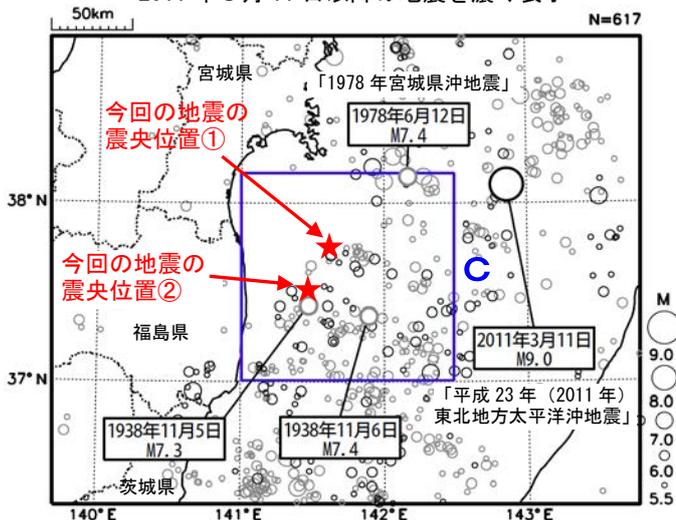


領域a内の断面図 (A-B投影)
($M \geq 2.0$)



震央分布図
(1923年1月1日～2015年8月5日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.5$)

2011年3月11日以降の地震を濃く表示

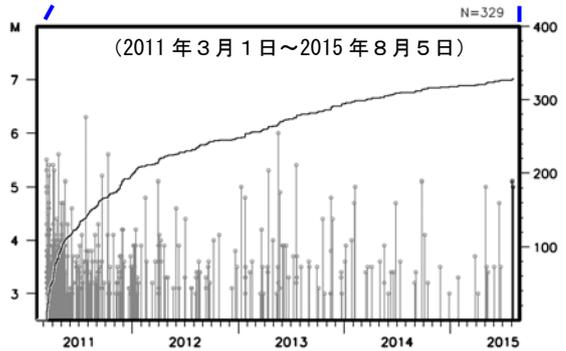
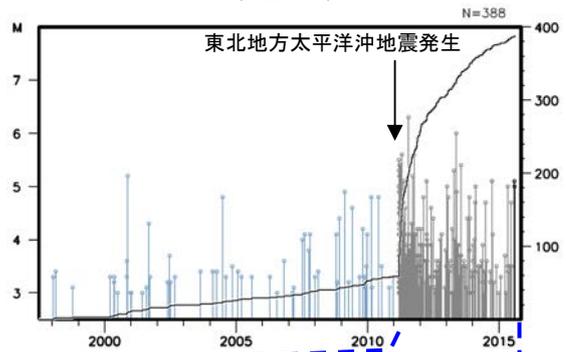


2015年8月3日14時30分に福島県沖の深さ49kmでM5.1の地震(最大震度3、①)が発生した。また、2015年8月5日20時56分に福島県沖の深さ50kmでM5.0の地震(最大震度3、②)が発生した。これらの地震は、発震機構(CMT解、5日の地震は速報値)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

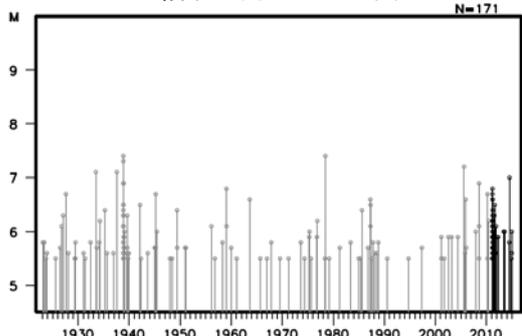
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0以上の地震は1回しか発生していなかったが、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生以降、2011年7月25日にM6.3(最大震度5弱)の地震が発生するなど、地震活動が活発になっている。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M7.0を超える地震が時々発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図
($M \geq 3.0$)



領域c内のM-T図

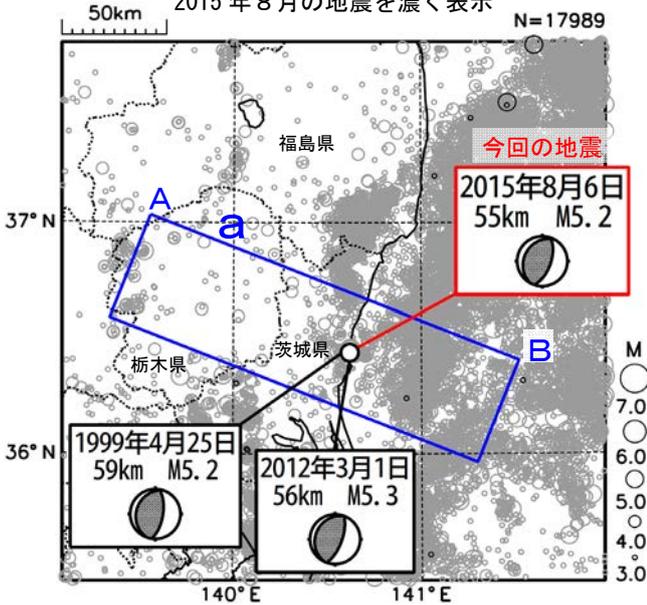


8月6日 茨城県沖の地震

情報発表に用いた震央地名は「茨城県北部」である。

震央分布図

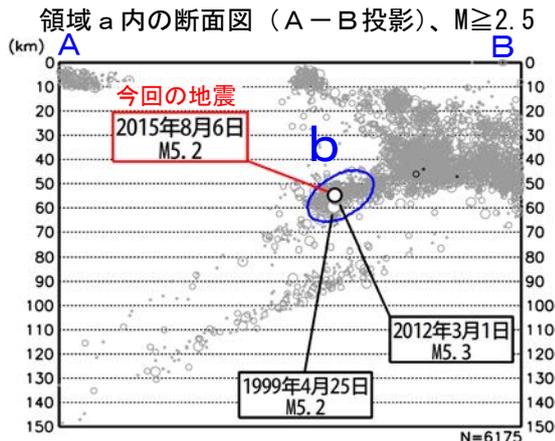
(1997年10月1日～2015年8月6日、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)
2015年8月の地震を濃く表示



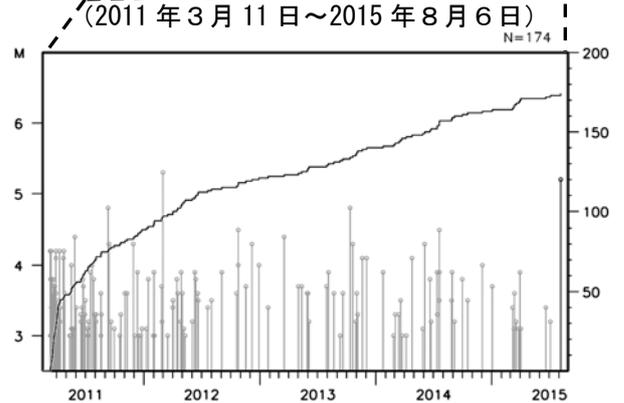
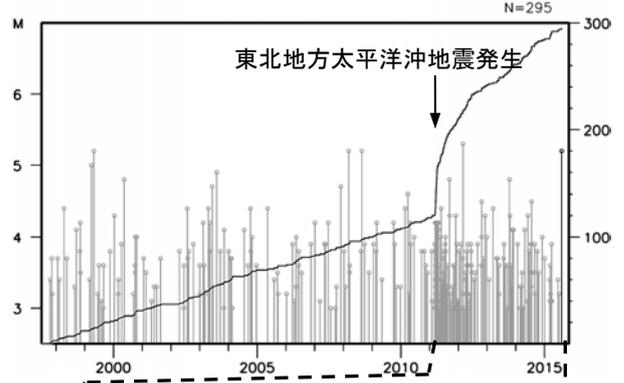
2015年8月6日18時22分に茨城県沖の深さ55kmで $M 5.2$ の地震(最大震度4)が発生した。この地震は発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)は、 $M 5$ 程度の地震が時々発生している。「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生以降、活動がより活発になっており、2012年3月1日には $M 5.3$ の地震(最大震度5弱)が発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域c)では、 $M 5.0$ 以上の地震が度々発生しており、このうち、1930年6月1日に発生した $M 6.5$ の地震(最大震度5)では、がけ崩れ、煙突倒壊などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)



領域b内のM-T図及び回数積算図、 $M \geq 3.0$



震央分布図

(1923年1月1日～2015年8月6日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$) N=1322

